

平成23年度 第1回柴田町まちづくり提案制度

審査結果報告書

平成23年 9月12日

柴田町まちづくり提案審査会

I 申請から審査までの経過

- 1 第1回募集期間 平成23年6月24日（金）～7月24日（日）
- 2 申請件数 3件（意見提案1件、実践提案2件）
- 3 審査会審査概要
 - ① 日 時 平成23年8月24日（水）
 - ② 審査員 柴田町まちづくり提案制度審査会委員 8名
 - ③ 審査方法 プレゼンテーション
- 4 認定方法 審査員7名による合議（大槻裕喜 審査員が欠席）

II 審査項目

審査にあたっては、募集区分ごとに以下の審査項目を設定し、その評価基準に照らして検討を行いました。

意見提案	実践提案
①公益性、②必要性、③実現可能性	①協働性、②公益性、③必要性
④発展普及性	④適格性、⑤実現可能性、⑥発展普及性

※実践提案④適格性については、提案者（団体）の財政状況、組織体制についての審査となります。

III 審査結果

1、総括

	応募件数	審査結果		備考
		採用	不採用	
意見提案	1件		1件	
実践提案	2件 (1件取下げ)			再審査

2、個別結果

①意見提案

提案名	ふれあいケア・プロジェクト	提案者	木 幡 義 孝	結果	不採用
【審査会意見】 現行の介護サービスでは必ずしもカバーしきれていない高齢者対策という視点は評価する意見が出された一方、対象となる高齢者数や類似サービスが無いかなどの現状把握、事業の実施体制やその実施方法等の具体的内容についてはまだ検討が不十分であり、審査会の採点が採択基準に達しなかったことから、今回は不採択という結論に至りました。 対象エリアや対象者、実施主体やその具体的方法などについて絞り込み提案されれば、意見提案としてだけでなく実践提案としても十分に実現可能な提案に発展可能だと考えられますので、今後の検討を期待します。					

②実践提案

提案名	ふれあいケア・プロジェクト	提案者	木 幡 義 孝	結果	
取り下げ（審査対象外）					

②実践提案

提案名	柴田町の資源を(見て触れて感じて) (知って見て感じて)	提案者	特定非営利活動法人 仙南広域工業会	結果	再審査
<p>【審査会意見】</p> <p>審査会の採点が採択基準に達しなかったものの、過半数の委員が採択基準を満たす採点結果でした。一方で、提案が提案者の自己PRに主眼が置かれ産業振興や担い手育成に十分に繋がる内容に至っていないのではないかと、地域貢献を前面に出して欲しい、一回のみの取り組みではなく工業会の年間行事に組み込み継続性を図ってほしい、というような意見があり、また、具体的な実施内容についての検討が若干不十分な点が見受けられ、今回の審査会では採否を決定するには至りませんでした。</p> <p>審査会としては、具体的な実施内容について提案者が再度整理し、地域貢献を前面に出した提案として、また、継続性についても検討を深めた上で提案を再提出していただきたいという結論に達しました。</p>					

3、審査表

提案名	審査員①	審査員②	審査員③	審査員④	審査員⑤	審査員⑥	審査員⑦	得点率
ふれあいケア・プロジェクト	34	13	30	32	38	9	30	53.1
柴田町の資源を(見て触れて感じて) (知って見て感じて)	<u>36</u>	4	<u>39</u>	<u>42</u>	29	12	<u>35</u>	56.3

※審査の採否は、得点率70以上を採択の基準とし、最終的には審査会で決定する。

IV 提案制度審査に関する意見

- 1、今回、初めての取り組みで提案者も申請書等の記載が不十分だった。
提案者がもっと具体的な実施内容や提案制度で求めている内容を記載しやすいようなシート様式を工夫すべきではないか。(記載例の添付など)
- 2、審査会の採点では、委員によって大きく採点に差が生じた。
結果として、過半数の委員は採択基準を満たす採点をしたものの、全体の得点率では基準を下回る「ねじれ」が生じた案件があった。
評価基準や評価方法について再度検討してはどうか。

まちづくり提案審査会 審査結果一覧

提案区分	提案事業名 (提案者)	審査結果 [得点率]	委員会意見
意見提案	ふれあいケア・プロジェクト (木幡義孝)	不採択 [53.1%]	<ul style="list-style-type: none"> ・具体策が欠ける。社会的課題ではあるが。 ・高齢者に対する支援策を広く考えた方が良いと思われる。行政とタイアップして進めていただきたい。 ・本提案は、地域コミュニティ（隣近所との住みよう、町内会）に向けてアナウンスが相応しい。サービス体（行政サービス）をまず作るべきという考えに賛同できない。 ・アイディアの提案としては可ではないか。 ・多くの場面で効果が期待できるが、綿密な工夫と実行力が課題。 ・現状把握が不足しているが、今度の検討しだいでは実現可能と思われる。 ・組織がまだ任意であり、対象者が不確定だ。
実践提案	ふれあいケア・プロジェクト (木幡義孝)	—	審査会当日に本人の申し出により取り下げ
	柴田町の資源を（見て触れて感じて）（知って見て感じて） (特定非営利活動法人仙南広域工業会)	再審査 [56.3%]	<ul style="list-style-type: none"> ・法人設立後3年、実践提案の目標が工業会のPRでは問題。現状でいいのでは。雇用に関係してくるなら実践提案でいいが。工場見学会、特産品程度では。 ・他業種との連携を深め実施して成果を出して欲しい。 ・工業会の本来の姿を見失わないように。 ・産業（特に工業）に目を向けるのであれば、その志を持った方（工業系の学生や技術を持つ方々、また起業に目を向けている方々など）へ向けた催事を作るべきでは。 ・産業（工業）製品の展示を中心とする一般的なお祭りイベントには賛同できない。 ・催事の支援の域でしかないのでは。 ・参加者増となり、効果を上げるための工夫が必要。 ・工夫次第で実施可能と思われる。 ・住民に現状理解を得る事が大切。町の企業実態が一般住民に知られていない状況にある。もっとしぼった計画が必要である。